

町自連 だより

第10号

2010年3月25日

地元の結束こそが、災害から人々を救う!!

さる二月二十四日、町自連研修会「災害に強いまちづくり」を開催 阪神淡路大震災経験者の瀬戸利夫氏が体験を交えた教訓を語った

「三十一歳の義理の妹は、早朝の市場で仕事をしています。で、このように建物が崩壊

し、下敷きになりました」生々しい崩壊現場の画像とともに瀬戸講師が、みずからの悲痛な思



上&下左 瀬戸氏はビジュアルをまじえながら、大震災の経験からくる教訓を語った
下右 「夕焼け小焼け」「サウンド・オブ・ミュージック」などの曲目が演奏された

いを語ると、会場はシーンと静まり返った。平成七年一月十七日の震災当時、神戸市の職員だった瀬戸氏は、NPO「神戸の絆2005」の会員。機会あるごとに、全国で震災の語り部としての活動を行っている。

瀬戸氏によると、震災前の神戸では、「大地震が起きるなんて誰ひとり想像していなかった」という。であるから、震災に備えての訓練、準備なども怠っている部分もあった。もしかするとそれは、「地震が起きても、都心ではないから大丈夫」という、八王子市の人々の今の思いと似通っているのではないか。そう感じさせる瀬戸氏の講演に、皆、熱心に耳を傾けていたのは言うまでもない。

他人事ではない 今、私たちがすべきこと

地震発生当時、神戸市内の消防局庶務課に勤務し、救護活動

後方支援に身を挺した瀬戸氏。氏によると、神戸市で地震により閉じ込められた人のうち、自力で脱出できなかった人が三万五千人。その内、消防や警察によって救助されたのは、たったの22.5%。残りの77.5%は市民による救助だという。

「あの状況では、警察も消防も人手不足なのは如実。ですので、いかに普段、隣近所、自治会、町会などで横の連結を深めているかが大事。隣の●●さんが家の下敷きになっている！となれば、皆、協力して助け合おうはず」という。そして、そういう地域のつながりと消防署、区役所などを結び「防災福祉コミュニティ」を作り上げていくことが、災害の被害を最小限にする方法だ。身を以て大震災を体験したりアリティのある言葉に、深く学ばせていただいた一日であった。

その後第三部は、創価大学パイオニア吹奏楽団団員六十名による演奏が行われ、盛会のうちに研修会の幕は閉じられた。
※広報部の濱野益男氏による詳しいレポートが、町自連ホームページに掲載してあります。ぜひ、ご覧ください。お寄せください。

町自連 ホームページをご覧ください！

わがまち
NEWS ①

新町の祭礼

新町は江戸期以来の町名です。旧甲州街道、八王子横山十五宿の東端、すなわち八王子宿の入り口でした。

町会として江戸時代から続いている三つの行事があります。ひとつは、閻魔様の縁日（一月十六日、七月十六日）、二つ目は八幡八雲神社の例祭です。そして三つ目が、新町永福稲荷神社例祭しょうが祭りです。この神社は、八王子の嶋屋という絹問屋の後継で八光山権五郎力士



大演芸大会には若狭男女たくさんの人々が集う。小/屋戸では、厄を取り払うという生薬が売られる。

新町町会相談役 檜山茂
(東部地区連合会)

が宝暦六年八月二日落成と同日に相撲を奉納し、以来毎年奉納相撲があったと伝えられています。現在は毎年九月第一土曜日に祭礼が行われ、竹の花公園に舞台を作り芸人を呼び、奉納演芸大会を開催しており、毎年千人近いお客さんが見えになり演芸を見て、縁起物の「しょうが」や勝運軍配を買ってお帰りになります。神社境内には八光山権五郎力士の石像もあり、触ると力がいただけるといわれています。今年の祭礼は九月四日です。どうぞお越し下さい。

わがまち
NEWS ②

「わたしの街の安全・安心手作りマップ」完成



場所はどこか、防災倉庫の場所、災害用備蓄品の確認をはじめ、防犯灯、消火器、消火栓等みんなで調査した結果を、十二町会が持ち寄りマップの作製を(株)ゼンリンに依頼しました。二月二十五日に二小体育館にてマップの完成をかね、その贈呈式と講演会を開催しました。

マップのサイズは、縦八十cm横百二十cmでカラーのマップを十二町会約四千五百世帯に「災害時常用備品一覧」と一緒に配布しました。

西部第三地区連合会では、東京都の「地域の底力再生事業」の助成を受けて、近隣町会（第二小学校区内）にも呼びかけ、十二町会が連携し、「わたしの街の安全・安心手作りマップ」の作成に取り組みました。マップ作製の基礎となる調査は、町会が主体となり、毎年地域の安全・安心手作りマップを作っている二小の六年生をはじめ、子ども会、老人会、PTA、商店会等が協働して、十二町会毎に、子供からお年寄りまで参加し、町会の一時避難

今回の事業を通じ、地域の安全・安心は十二町会が一体となって取り組む合意がなされ、更に十二町会内一万余の町会員が災害に強い街になるよう、有事の際にはみんなで助け合う街になるよう、日頃の防火・防犯・防災に対し万全の備えを心がける良い機会になり、地域力の更なる向上を図ることができました。
(西部第三地区連合会長 宮道 邦男)

自治会活動賠償責任保険

八王子市町会自治会連合会
自治会活動賠償責任保険取扱代理店

☎ 638-0990 三井住友海上代理店 担当 澤渡

その保険はあなたを守る保険ですか？
損保・生保のご相談はさわたりFP事務所へ

（株）さわたりFP事務所 www.dairitenhp.com/sawa-fp/

サン・ライフグループ



ご自宅・お近くのホール
お寺・市営斎場でのご葬儀も
お近くのサン・ライフにご相談ください。

八王子総合ホール 日野会館 高倉総合ホール
八王子南口総合ホール 南多摩総合ホール

西東京式典事務所 Tel. 042-637-4111

元横地区連合会交流会 「ふれあい交流」開催



太鼓の連が出演、屋台もたくさん出て、特に子供たちは大喜び

十一月一日、田町ストリートで地域のふれあい交流の場として、大きなイベントが行われました。

各町会自治会から多くの模擬店と出演団体も北海道から沖繩まで、そして地区内、八王子市内で活躍する団体二百八十名の協力を得ることができました。沿道の観客含め、集まった人数は総勢三千人になりました。

当連合会では、例年、年一回の運動会を各町会の親睦交流の場としてきましたが、高齢化に伴い、限られた参加者しか見込めなくなりつつありました。新



たな地域ふれあい交流の場を模索していたところ、町自連から都の助成事業を知り、本地区連合会としてはこれまでない新たなかつ大きな事業になると思い、各町会長全員が、本事業成功を願って活動していききました。その活動の中で、自然と地域のこれからのことを考える機会が増え、親睦も深まってきたのです。当日は、スタッフとして活躍した町会の役員が団結して取り組み、役員同士の交流が広がったのはいうまでもありません。さらには、地域住民からも感謝の言葉をいただくことができ、本地区連合会の「地域の底力」を実感いたしました。

今回限りではなく、今後も引き続き、本地区連合会の重要なふれあい交流事業として実施していきたいと思えます。

(元横地区連合会
実行委員長 菅原健司)

横山南地区連合会 東海地震対策に学ぶ



皆で地震の体験

今回、当町自連の事業計画の一つである「管外研修」に「町会等地区連合会交流事業補助金」の交付を受け、近い将来発生が予想される東海地震に対する現地の防災対策の現状を視察・研修するため静岡市にあり「静岡県地震防災センター」へお願いし実施いたしました。

十月一日早朝に八王子を二十三名の町会・自治会長で発ち車内では「東海地震の概要と静岡県地震防災センターの予備知識」を予習しながら現地に到着しました。

「静岡県地震防災センター」では、東海地震に対する静岡県の取組みの現状を映像・パネル

等を用いて専門の係員の方からの説明で、津波の実演、東海地震のしくみ、地震体験、耐震構造の家屋等地震についての心構えを体験を通じて研修しました。

その中で非常に参考になった事は、静岡県では「東海地震は必ず起こる」という事を全県民に周知徹底していることでした。ややもすると机上の計画になりがちな防災計画ですが、静岡県では新築家屋の建築許可、道路の整備、それに付随する電気・水道・ガス等の工事も耐震性の優れたものに指導をして、地震に強い静岡県を目指しているとのことでした。また、「地震防災ガイドブック」が全家庭に配布されており、ガイドブックを通して自助・共助・公助が行政の末端までの周知徹底がなされていきました。研修終了後「館山寺温泉」で一泊懇親を深め翌日は浜松航空自衛隊基地を見学し無事研修を終えました。

今回の研修を通じて我々も「災害は忘れたころ来る」という事を肝にめいじて防災対策を推進し、安全安心の町づくりにまい進したいと考えます。

(横山南地区連合会
会長 黒澤愛治)

総合電気設備工事



秋間電設株式会社
〒192-0063
東京都八王子市元横山町1丁目13-19
TEL: 042-644-3675



自治会のみなさまへ

住宅用火災警報器の共同購入は

インコのCMでおなじみの

ホーチキへ



煙式(光電式)

お問い合わせは…西関東支社 TEL.042-665-8241

ホーチキ株式会社

http://www.hochiki.co.jp ホーチキ 検索

ホーチキを
つけてください。

TVCM
放映中!

東京都

「地域の底力再生事業」
助成の交付を受けて

今年度の事業助成の交付を市内で連合会四団体、単位町会自治会六団体が交付を受け事業を実施しました。前ページで紹介した元横地区の「ふれあい交流」、西部第三地区の「わたしの街の安全・安心手作りマップ作り」がその二例です。

二十二年度も東京都では申請受付を実施しますので、詳しくは左記の市協働推進課か、または町自連事務局までお問い合わせください。

八王子市協働推進課

☎620・7401

「町会等地区連合会等
交流事業補助金」の
交付事業の紹介

昨年度より八王子市から交流事業補助金の交付事務を委託されました。今年度も九件の申請があり、合計八十七万円の交付を行いました。交付状況は町自連ホームページの「トピックス一覧」の中に掲載しておりますのでご覧ください。

また、前ページの横山南地区「東海地震対策に学ぶ」は、交付団体の一例です。

市民活動協議会との
第2回意見交換会を開催

本年一月二十七日、町自連とNPO法人市民活動協議会による第二回意見交換会が開催されました。今年は、昨年のトップ会談に加え、町自連側から前野事務局長、協議会側から役員三名も同席。秋間会長と同協議会の石井理事長による活発な意見、そして情報の交換が行われました。

今回の会談では、以下のよう
なことが確認され、成果が上が
ったと言えます。

- 一、私たち町会会員が、地域の抱える様々な課題解決に向け、同じく専門性を活かして地域課題に取り組みNPOなどの市民団体と協力し合うには、まず活動自体に関心を持ち、よく知る。
- 二、市民活動団体の会員もよりいっそう地域に根付いた活動を展開し、地元町会活動の担い手として積極的に関わる。



参加者の面々

広報部よりお知らせ

町自連の広報紙「町自連だより」は従来年二回発行し各戸配布をしております。

しかし、年二回の発行では、タイムリーな広報はできないとの観点から、さらに各戸配布の手間の問題も考慮して、新たに「広報 町自連」として原則年四回、回覧形式で発行することといたしました。その旨、各町会、自治会にもお知らせいたし

町自連の活性化に向けて

会長 秋間利久

今年度、会長に就任して以来、子どもの生活の基盤となる地域社会を支え、誰もが安全、安心な生活ができる街づくりをするために、町自連は何をなすべきか、常に模索してまいりました。その第一歩として、活動をより活性化するために、今年度九月に全地区連合会長が参加する専門部会「事業部」「広報部」「総務部」を立ち上げ三副会長を部長に任命し各地区連合会の活動を活性化するための第一歩を踏み出したところであります。その三部の部長の就任の挨拶を町自連ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

これからも、三役会、役員会において「町自連」とはいかにあるべきか、議論していく所存です。皆様のご協力をお願い申し上げます。

ましたが、このほど、お伝えする記事の多さと発行の定期的な問題も勘案し、二十一年度の区切りとして従来の「町自連だより」第十号を発行し各戸配布をお願いすることといたしました。したがって、平成二十二年四回、回覧形式で発行することといたします。ご理解をお願いいたします。なお「町自連だより」十号は三月二十五日発行予定です。あわせてよろしくお願いたします。

編集後記

今回は、スタッフの全面的な協力により、一部カラー印刷導入を始め紙面構成も大幅に改善し「見やすい紙面」を試みました。また、長文をじっくり読んでいただきたいため、一部、ホームページ掲載にするなどの工夫をしております。ぜひ、ホームページの方も閲覧していただければと存じます。また、皆さんのご意見をお聞かせくださいませ。 広報部一同

町自連

詳細は町自連ホームページをご覧ください!

お花・介護用品・患者移送から お葬儀のことまで

家族が安心

《特別割引特典の会員制度》

—ISO9001 審査登録・品質と経済性の—

ファミリーライフクラブ

—特に葬儀の50%割引が経済的です—

年会費なし 月々の掛金なし

元 NHK ラジオパーソナリティ 宮田 修

入会金 50,000円のみ。

●入会申込み・資料請求は— セレモアつくば ☎042-626-1711

1部からご注文OK 即日発送も可能!!

規格 回覧板

名入れOK! 金具位置：上または左

(有)サイシン広告

☎0494-24-3995 (代) http://www1.odn.ne.jp/saisin/

回覧板サンプル・パンフレットは町自連事務局にあります。